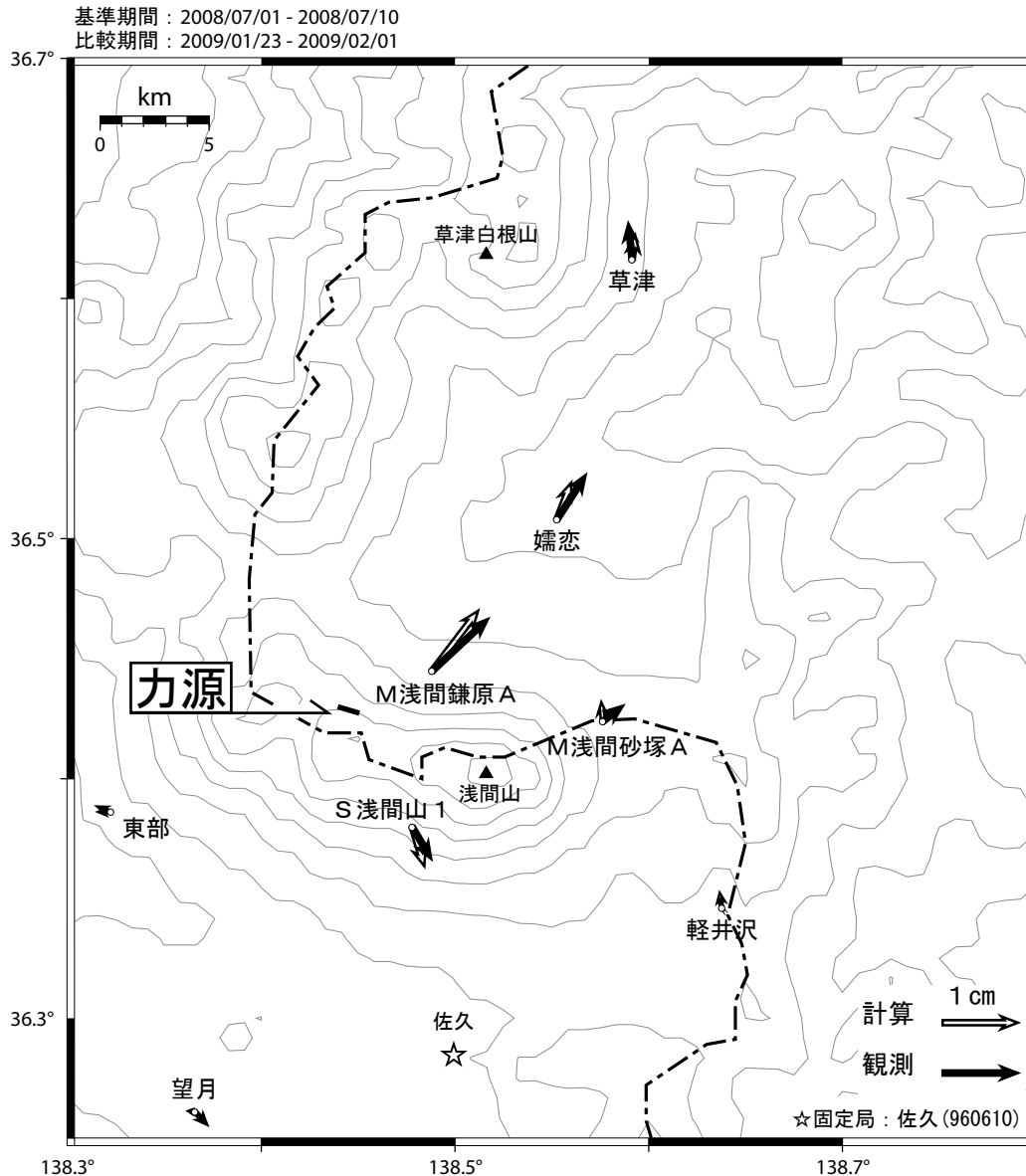


2009年2月までの7ヶ月間に 浅間山を膨張させた力源のモデル

2009年2月の噴火前約7ヶ月間のGPS連続観測のデータを用いて、噴火前に山体を膨張させた力源の位置、深さ、体積変化量などを推定しました。
その結果、浅間山山頂火口の西北西約6km、地下約2kmで、ほぼ垂直に板状にマグマが貫入したことが示唆されます。
この膨張に関与したマグマの量は、約2百万立方メートル（東京ドーム1.6杯分）と推定されました。



力源モデルパラメータ

緯度	経度	上端深さ km	走向	傾斜角	体積変化量 m ³
36.427°	138.451°	1.7	286°	89°	+約200万